

教 育 委 員 会 臨 時 会 議 事 日 程

令和4年12月15日(木) 午前10時00分

1 会議録の承認

2 一般報告・その他報告事項

子ども科学教育研究全国大会について

新型コロナウイルス感染症への対応について

3 審議案件

教委第46号議案 横浜市国際学生会館指定管理者選定評価委員会委員の任命について

教委第47号議案 教職員の人事について

教委第48号議案 教職員の人事について

教委第49号議案 教職員の人事について

教委第50号議案 教職員の人事について

教委第51号議案 教職員の人事について

4 その他

教育委員会臨時会 一般報告

1 市会関係

- 12/6 本会議（第2日）議案上程・質疑・基本計画特別委員会設置・付託
- 12/9 本会議（第3日）一般質問
- 12/14 基本計画特別委員会（議案審査）

2 市教委関係

（1）主な会議等

- 12/6 いじめ防止市民フォーラム

（2）報告事項

- 子ども科学教育研究全国大会について
- 新型コロナウイルス感染症への対応について

3 その他

子ども科学教育研究全国大会について

1 概要

立野小学校がソニー子ども科学教育プログラム2021年度教育実践論文で最優秀校を受賞し、令和4年度子ども科学教育研究全国大会を開催しました。当日は全国から200名以上の教職員や大学生が参加し、全クラスで授業を公開しました。審査員の千葉大学山下修一教授から「立野小学校の取組は、指導が難しい単元にチャレンジしていて見どころが多いことや若手教員を巻き込んだ学校全体としての取組になっていること」の評価をいただきました。

立野小学校は、ソニー子ども科学教育プログラム教育実践論文に平成29年度から応募しており、平成29、30年度は奨励校、令和元、2年度は優秀校を受賞しました。令和3年度(2021年度)は、全国の小中学校より161件の応募があり、書類審査、オンラインインタビューや授業実践を記録したビデオによる審査を経て、審査委員会により、立野小学校が最優秀校2校のうちの1校に選ばれました。

実践論文には、運動会当日の天気を予想することと天気の変化を関連付けた学習や、年間を通じて根岸森林公園の自然と関わる学習、色々なおもちゃを作って全校の皆に遊びに来てもらうことを目指したおもちゃランドの学習など、児童が主体的に学んでいる授業実践が報告されていました。

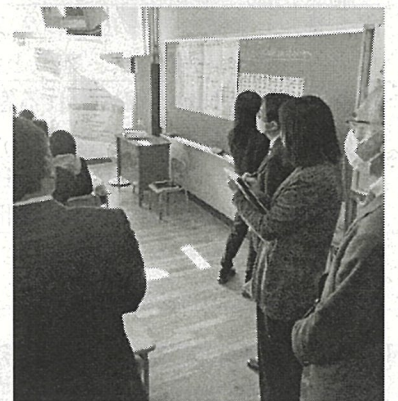
※ソニー子ども科学教育プログラムとは、未来を生きる子どもたちの「科学する心」を育てる環境づくりを応援し、小中学校や園への支援を1959年から60年以上続けている公益財団法人ソニー教育財団の教育助成プログラムです。教育助成プログラムは教育実践論文、教育実践計画、保育実践論文の3部門があり、教育実践論文は全教科が対象で、「科学が好きな子どもを育てる」ための教育実践と計画を毎年募集しています。

2 日時・場所

令和4年11月25日(金) 8:50~16:30 立野小学校

3 時程

- 8:50 開会行事(来賓挨拶)
株式会社ソニー取締役会長 盛田 昌夫
ソニー科学教育研究会理事長 吉永 公紀
横浜市教育委員会教育長 鯉淵 信也
- 9:30 公開授業①(裏面参照)
10:40 公開授業②(裏面参照)
11:35 ポスターセッション
13:30 研究協議会
14:40 シンポジウム「新たな価値を創造するには」
<シンポジスト>
学校法人希望が丘学園 学園統括顧問 日置 光久
福島大学教職大学院 准教授 鳴川 哲也
国立教育政策研究所 学力調査官 川上 真哉
横浜創英大学 教授 大内 美智子
國學院大學 教授 寺本 貴啓
立野小学校 教諭 境 孝
小机小学校 校長 鈴木 康史
- 16:10 閉会行事(指導講評)
千葉大学教育学部理科教育教授 山下 修一



4 公開授業一覧（個別支援学級：生活単元・生活科、理科 1～2年生：生活科 3～6年生：理科）

【公開授業① 9：30～10：15】

| 年 組 | 単元名 | 活動 |
|-----|---|--|
| 1 2 | かぞくとじぶん もっとなかよし ～みんなの にこにこ だいさくせん～ | 家族が笑顔になる活動やそれを伝え合う活動 |
| 1 3 | えがお いっぱい やさしい チャレンジ ～みんなの にこにこ だいさくせん～ | 家族が笑顔になる活動やそれを伝え合う活動 |
| 2 3 | あそぼう！ガラタカラシティ！ ～あそんで ためして くふうして～ | 身近にある物で遊ぶ活動や遊んだことを伝え合う活動 |
| 3 1 | どこまで飛ぶの？3-1Bird ～風とゴムの力の働き～ | 風とゴムの力と物が動く様子に着目した活動 |
| 3 2 | 音を出すと、おどり出す？ふるえ出す？ ～音の性質～ | 音を出したときの震え方に着目した活動 |
| 4 3 | すがたを変える水 ～金属、水、空気と温度～ | 水の温度変化と状態変化に着目した活動 |
| 5 1 | あっちの空にあんな雲！このあとの天気は…？ ～天気の変化～ | 雲の量や動きに着目して、天気の変化の仕方を調べる活動 |
| 5 2 | 包まれて、抱かれ ～人の誕生～ | 人の胎児の様子に着目して、動物の発生や成長を調べる活動 |
| 6 2 | 生きることは♡息ること ～人の体のつくりと働き～ | 体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きに着目して、生命を維持する働きを多面的に調べる活動 |

【公開授業② 10：40～11：25】

| 年 組 | 単元名 | 活動 |
|------------|---|---|
| 個別支援 学級 | 5くみワクワクくるまランド ～おもちゃをつかってあそぼう～ | 身近にある材料を使って車のおもちゃを工夫して作る活動 乾電池で動くモーターカーを電流の働きを生かして作る活動 |
| 1 1 | わくわく あきのあそびで あそびたい！ ～しんりんこうえんの あきと なかよし～ | 根岸森林公園の自然を観察したり、自然を利用して遊んだりする活動 |
| 2 1 | おもちゃのたからじま ～あそんで、ためして、くふうして～ | 身近にある物で遊ぶ活動や遊んだことを伝え合う活動 |
| 2 2 | こんなに見つけた 立のお気に入り ～もっと もっと まちたんけん～ | 地域の公共物や公共施設、商店街のお店の人と関わる活動 |
| 3 3 | わたしたちの光 | 光を当てたときの明るさや温かさに着目した活動 |
| 4 1 | 風を切って走れ！プロペラカー！ ～電流の働き～ | 電流の大きさや向き、乾電池につないだ物の様子に着目した活動 |
| 4 2 | 空気って膨らむの？！ ～金属、水、空気と温度～ | 金属、水及び空気の温度の変化と体積の変化に着目した活動 |
| 5 3 | 一本の導線に流れる電流、微かな磁力を添えて ～電流が作る磁力～ | 電磁石の性質に着目して、電磁石の磁力の変化を調べる活動 |
| 6 1 | 重なる”知層”、紐解く歴史 ～土地のつくりと変化～ | 土地やその中に含まれる物に着目して、土地のつくりやでき方を多面的に調べる活動 |
| 6 3 | 金属も溶かす水！？ ～水溶液の性質～ | 溶けているものに着目して、水溶液の性質や働きの違いを多面的に調べる活動 |



新型コロナウイルス感染症への対応について

1 教職員・児童生徒の新型コロナウイルス感染状況

令和4年6月下旬からのいわゆる第7波では、市中の感染拡大に伴い、市立学校関係者においても、7月中旬をピークに週当たり最大5,070人の感染が報告されていました。その後、10月中旬にかけて減少傾向にありましたが、10月中旬以降、再び市中の感染拡大に伴い、市立学校関係者においても感染者数が増加しています。

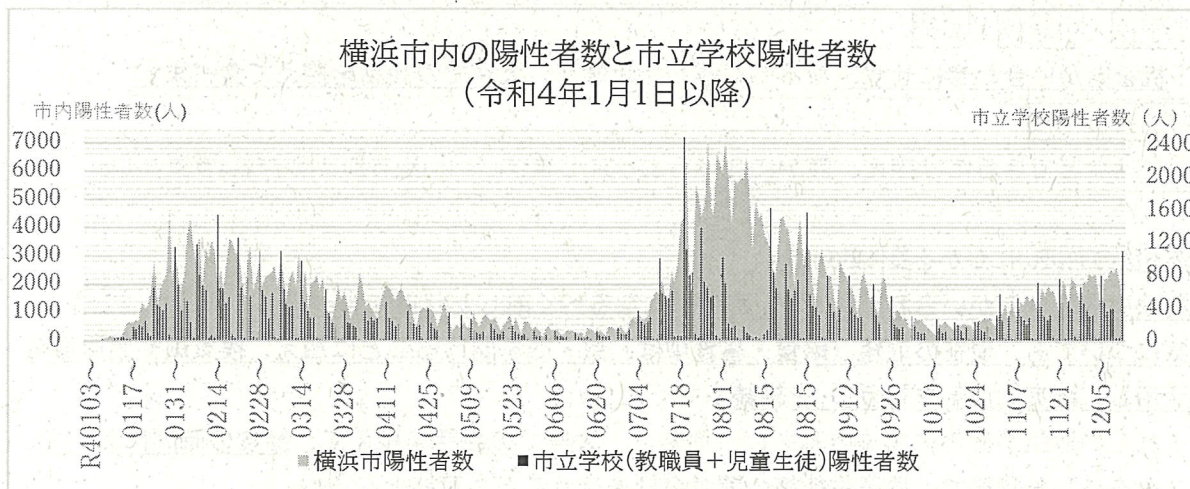
市立学校では、引き続き、衛生管理マニュアル及び通知等に基づき、感染予防のための取組を徹底しています。

令和4年12月12日の感染者数は、児童生徒が1,080人、教職員が26人、新規学級閉鎖数は4学級となっています。

学校関係者の感染者数（10月31日～12月12日の学校からの報告に基づく人数）

| 集計期間 | 児童生徒感染者数 | 教職員感染者数 | 新規学級閉鎖数 |
|---------------|----------|---------|---------|
| 10月31日～11月6日 | 1,385 | 118 | 54 |
| 11月7日～11月13日 | 1,503 | 131 | 23 |
| 11月14日～11月20日 | 1,892 | 163 | 42 |
| 11月21日～11月27日 | 2,049 | 166 | 40 |
| 11月28日～12月4日 | 2,002 | 162 | 34 |
| 12月5日～12月11日 | 2,307 | 195 | 54 |
| 12月12日 | 1,080 | 26 | 4 |

※ 児童生徒は報告日、教職員は判明日で集計しています。



2 臨時休業となった学校について

A小学校では、10月29日までに教職員13人、児童40人の感染が判明したため、5学級を学級閉鎖しました。10月30日には、教職員の陽性者がさらに7人判明し、最終的に27人の陽性者が確認されました。当該校については、10月31日から11月4日まで休校としました。

休校に当たっては、児童は一人一台端末を持ち帰り、ロイロノートで学習課題を提出したりするなど、オンライン学習に取り組みました。

3 学校における給食・昼食の場面での感染症対策について

11月29日に発出された文科省通知を踏まえ、横浜市立学校での給食・昼食時の会話等の取扱いについて整理し、以下のとおり、12月7日に学校あてに通知を発出しました。

学校における給食・昼食の場面での感染症対策について（通知）

令和4年11月29日に、文部科学省から事務連絡『「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の変更等について』（以下「文科省通知」という。）が発出されました。文科省通知で示された飲食の場面における感染対策を踏まえ、横浜市立学校における給食・昼食の場面での感染症対策、特に会話の取扱いを見直しました。各学校におかれましては、「横浜市立学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」（以下「本市マニュアル」という。）、及び本通知に基づき、引き続き感染症対策に取り組んでいただくようお願いいたします。

1 給食・昼食の場面での感染症対策

現在の本市マニュアルの記載内容について、本通知以降は、以下のとおり取扱いを変更します。

<現行> （本市マニュアルP36～38 「7(4) 給食・昼食における指導」）

小学校・中学校・高校

・机は寄せずなるべく離れた状態で全員が同じ方向を向き、会話を控え静かに食べます。

特別支援学校

・会話などできるだけ控え、静かに食べるようにします。



<変更後>

小学校・中学校・高校

・机を向かい合わせにせず、なるべく離れた状態で、大声での会話を控えて食べます。

特別支援学校

・会話などできるだけ控え、静かに食べるようにします。（※特別支援学校は変更なし）

2 変更後の取扱いにかかる具体的対応

机は引き続き向かい合わせにせず、寄せずなるべく離れた状態で食べることとします。また、換気についても、現在の取組（給食・昼食中は、窓・扉を開けることに加え、換気扇や扇風機等も活用し、確実に換気を行う。）を継続してください。

それらの取組が確実に実施されている場合は、大声での会話を控えて、給食の時間において、マスクを外した状態で、児童生徒等の間で会話を行うことも可能とします。

なお、文科省通知が給食時の会話に主眼を置いた通知であること、また、市民（保護者）の関心の高まりから早期の対応が求められる状況にあること等を踏まえ、「給食・昼食の場面での会話」に限り、本通知により取扱いを変更します。